



- 01 乳児股関節二次検診への紹介基準
ノロウイルスの予防
- 02 「やまぼとギャラリー」情報コーナー
医療安全川柳(12月)
異動のごあいさつ
- 03 5病棟の生活のひとコマ³¹
三重病院のサラメシ¹⁸
- 04 編集長のくつろぎコーナー／外来からのお知らせ
年末年始のお知らせ／外来診察のご案内

乳児股関節二次検診への紹介基準

先天性股関節脱臼の発生は、予防啓発など先人の努力により、1970年代以前との比較では10分の1以下と激減しました。しかし、疾患の減少による地域の健診体制の脆弱化は避けがたく、病院も一部の専門病院でしか治療を行わない傾向にあります。

日本小児整形外科学会の調査(平成23年4月から2年間)によりますと、歩行を開始した1歳以上で診断された遅診断例が、股関節脱臼報告例の15%、年間100例近くあり、そのほとんどが健診を受けていたという状況が明らかになりました。

このような経緯で、「先天性股関節脱臼予防」と「乳児股関節健診推奨項目と二次検診への紹介」パンフレットが作成されました。これをもとに、乳児健診から整形外科二次検診への紹介がスムーズに行われ、股関節脱臼の早期発見につながることを期待されます。

これらパンフレットは、日本小児整形外科学会HP公開資料からどなたでもダウンロード可能です。

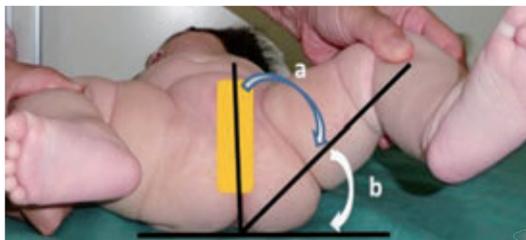
<http://www.jpoa.org/>

また、保護者の方にも以下の股関節の状態には注意していただき、よく観察して、おかしいと思われたら健診の時以外にも小児科、整形外科にご相談することが大切と思います。お子さんに一番接しておられる保護者の方々のご意見は大変重要です。

紹介基準推奨項目

①股関節開排制限

股関節を90°屈曲して開く。
床からの角度bが20°以上で陽性
⇒ 二次検診に紹介



②大腿または鼠径のしわの非対称



(日本小児整形外科学会HP公開資料より)

③家族歴：血縁者の股関節疾患

④女兒

⑤骨盤位分娩(帝王切開時の肢位を含む)

⇒②、③、④、⑤は2つ以上あれば二次検診に紹介

一次健診のおおよそ10~15%が二次検診に紹介となります。

二次検診への紹介はなるべく早い方がよく、問診や身体所見のみで乳児股関節異常をもれなくスクリーニングすることはできないため、健診医の判断や保護者の精査希望も配慮する必要があります。ご不明な点などは、お気軽にお問い合わせください。

★一般向け予防と早期発見のアニメーション動画。「赤ちゃんの病気、股関節脱臼」を検索できます。

<http://shirumirumamoru.info/sickness/video02.html>

(整形外科 西山 正紀)

